

読書のすゝめ

その20

R 1 10 / 29

図書館も衣替え？

相次ぐ台風で10月は心も晴れない日々でした。クラスマッチは「秋晴れ」を期待したいものです。

さて、図書館内の学習コーナー

を移動しました。

1年の図書委員さんが書架の本

を運んで整理してくれました。

配置が変わったのですが、本

を日差しから守りつつ、学習に

は明るく

なったか

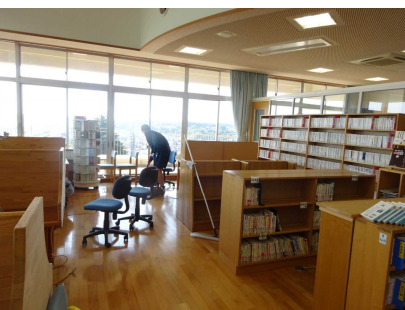
と思いま

す。

ぜひ利用

してくだ

さい！



これ読もう！

『祝祭と予感』 恩田陸 幻冬舎

大ベストセラー『蜜蜂と遠雷』のスピノフ短編小説集。



*入賞者ツアーのはざま、亜夜とマサル（なぜか塵も）が二人のピアノの恩師綿貫先生の墓参りをする「祝祭と掃苔」。

*芳ヶ江国際ピアノコンクールの審査員ナサニエルと三枝子の若き日の衝撃的な出会いとその後を描いた「獅子と芍薬」。

*作曲家・菱沼忠明が課題曲「春と修羅」を作るきっかけになった忘れ得ぬ教え子の追憶「袈裟と鞆韃」。

*ジュリアード音楽院ブレ・カレッジ時代のマサルの意外な一面「竖琴と葦笛」。

*楽器選びに悩むヴィオラ奏者・奏へ天啓を伝える「鈴蘭と階段」。

*巨匠ホフマンが幼い塵と初めて出会った永遠のような瞬間

「伝説と予感」。 全6編

『ツナグ 想い人の心得』 辻村深月 新潮社



もう一度だけ亡くなったあの人に会えるとしたら、あなたは何を伝えますか？

死者との再会を叶える使者「ツナグ」。

長年務めを果たした最愛の祖母から歩美は使者としての役目を引き継いだ。7年経ち、社会人になった彼の元を訪れる依

頼者たちは、誰にも言えぬ想いを胸に秘めていた――。後悔

を抱えて生きる人々の心を繋ぐ、使者の物語。

9年ぶりの待望の続刊です

※11月は購入希望図書について学校全体で実施します。

この機会に図書館で購入してほしい本をリクエストしてください。